

三菱UFJフィナンシャル・グループ
MUFG通信

第7期第3四半期(平成23年4月1日~平成23年12月31日)



Quality for You 

MUFG

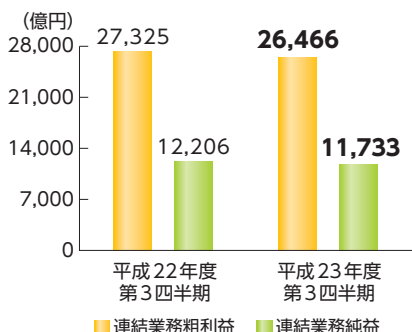
平成23年度第3四半期の業績

✓ 決算のポイント

- 連結四半期純利益(平成23年4月～12月)は、与信関係費用の改善やモルガン・スタンレー関連会社化に伴う利益などから、前年同期比2,639億円増益の8,158億円
- 貸出金は、海外貸出が順調に増加したほか、国内法人貸出も増加に転じ、平成23年9月末比1.3兆円増加。預金は、個人預金が増加したことから平成23年9月末比0.8兆円増加
- 連結自己資本比率は、平成23年9月末比0.28ポイント低下の15.14%

損益の状況

連結業務粗利益・連結業務純益

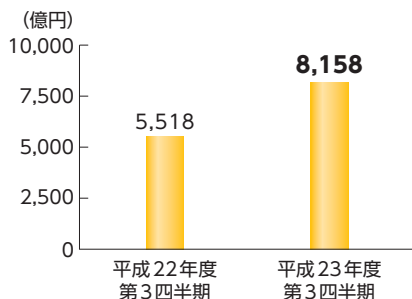


連結業務粗利益は、債券売買益が増加した一方、消費者金融子会社の貸出残高減少やモルガン・スタンレー優先株式の普通株式への転換に伴う優先株式配当の消失などを主因に資金利益が減少したことから、前年同期比858億円減少しました。

営業費は、引き続きグループを挙げて経費削減に取り組んだ結果、385億円減少となりました。この結果、**連結業務純益**は473億円減少の11,733億円となりました。

与信関係費用は、861億円改善し、1,802億円の費用となりました。一方、株式等関係損益は、国内株式相場の低迷に伴い1,312億円悪化し、1,550億円の損失となりました。また、持分法による投資損益は、モルガン・スタンレーを関連会社化したことに伴う利益2,906億円を計上したことを主因に3,673億円改善しました。以上の結果、**連結四半期純利益**は2,639億円増益の8,158億円となりました。

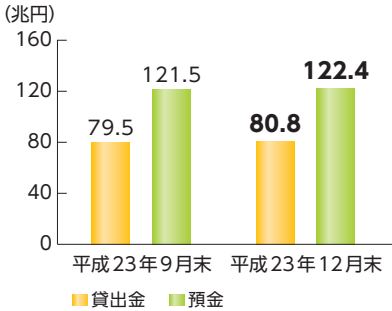
連結四半期純利益



(注)業績説明に使用している計数は、各々単位未満を切り捨てて表示しています。従って、表中のある項目の計数と他の項目を加減計算した結果とが一致しないことや、説明文中の増減数値とグラフ・表中の計数を加減計算した結果とが一致しないことがあります。

貸出金・預金の状況

貸出金・預金

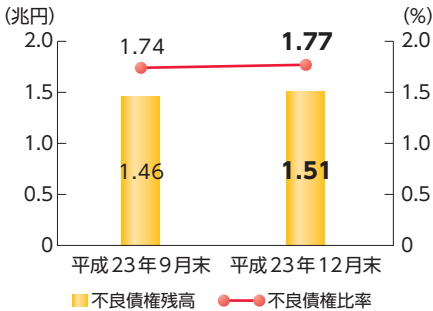


貸出金は、住宅ローンが減少したものの、海外貸出が順調に増加したほか、国内法人貸出も増加に転じたことから、平成23年9月末比1.3兆円増加の80.8兆円となりました。

預金は、国内法人預金は減少したものの、個人預金が増加したことから、0.8兆円増加の122.4兆円となりました。

不良債権残高・比率の状況

不良債権残高・比率

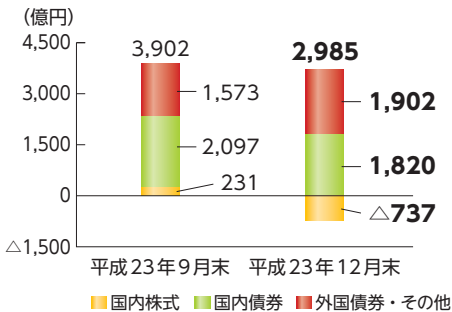


不良債権残高*は、平成23年9月末比527億円増加の1兆5,166億円となりました。**不良債権比率***は、0.02ポイント上昇の1.77%となりましたが、引き続き低水準を維持しています。

*三菱東京UFJ銀行と三菱UFJ信託銀行の2行合算+信託勘定

有価証券の含み損益の状況

有価証券の含み損益

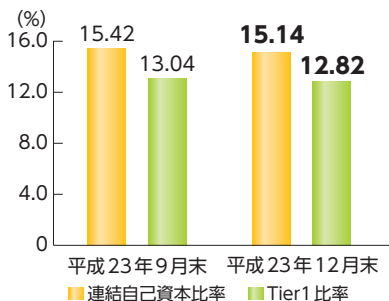


有価証券の含み損益(その他有価証券評価差額)は、平成23年9月末比916億円減少し、2,985億円の含み益となりました。株値低迷の影響で国内株式の評価損益が969億円減少し、737億円の含み損になりました。

平成23年度第3四半期の業績

連結自己資本比率・Tier1比率の状況

連結自己資本比率・Tier1比率



連結自己資本比率*は、平成23年9月末比0.28ポイント低下し15.14%となりました。**Tier1比率****は、0.21ポイント低下し12.82%となりました。市場リスクに関する新規制の導入や貸出金の増加により、リスク・アセットが増加したことが比率低下の主な要因です。

* 自己資本比率=自己資本÷リスク・アセット

** Tier1比率=中核的な自己資本(資本金・剰余金など)÷リスク・アセット

平成23年度第3四半期決算に関するQ&A

Q 欧州周縁国におけるMUFGの状況について教えてください。

A スペイン、イタリア、ポルトガル、ギリシャ、アイルランド5カ国に所在するお客さまに対する三菱東京UFJ銀行(連結)のエクスポージャー*1は、表1のとおりで、合計で約122億米ドル(約9,500億円*2)と、MUFGの総資産210兆円の約0.4%です。国に対するエクスポージャーはなく、一般事業法人向けが中心です。また、上記とは別にMUFGグループの同5カ国の保有国債残高は表2のとおりで、合計約35億米ドル(約2,700億円*2)です。ギリシャ、アイルランド国債は保有していません。

各国の状況を注視しながら、適切にリスク管理を行っていきます。

*1 取引先に供与している融資や融資枠、保証、外為取引などの与信の総額

*2 為替レートは平成23年12月30日の仲値(1米ドル=77.74円)で計算

表1 三菱東京UFJ銀行(連結)の
エクスポージャー残高

	残高 (平成23年12月末)
スペイン	約57億米ドル
イタリア	約54億米ドル
ポルトガル	約5億米ドル
ギリシャ	約3億米ドル
アイルランド	約3億米ドル
合計	約122億米ドル

表2 MUFGの
保有国債残高

	残高 (平成23年12月末)
スペイン	約8億米ドル
イタリア	約27億米ドル
ポルトガル	0億米ドル
ギリシャ	—
アイルランド	—
合計	約35億米ドル

(単位：億円)

損益の状況(連結)	平成22年度第3四半期 (平成22年4月～12月)	平成23年度第3四半期 (平成23年4月～12月)
連結業務粗利益(信託勘定償却前)	27,325	26,466
うち資金利益	14,964	13,780
うち信託報酬+役員取引等利益	7,792	7,699
うち特定取引利益+その他業務利益	4,567	4,987
営業費	15,118	14,733
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	12,206	11,733
臨時損益(△は費用)	△ 3,960	154
うち与信関係費用	△ 2,664	△ 1,802
うち株式等関係損益	△ 238	△ 1,550
うち持分法による投資損益	△ 29	3,644
経常利益	8,361	12,314
特別損益(△は損失)	198	△ 178
法人税等合計	2,778	3,194
少数株主利益	262	783
連結四半期純利益	5,518	8,158
与信関係費用総額(△は費用) 与信関係費用+貸倒引当金戻入益+偶発損失引当金戻入益(与信関連) +償却債権取立益	△ 2,015	△ 907

(単位：億円)

資産・負債の状況(連結)	平成23年9月末	平成23年12月末
資産の部	2,159,471	2,108,701
うち貸出金	795,114	808,259
うち有価証券	755,741	726,204
負債の部	2,046,124	1,996,619
うち預金	1,215,825	1,224,470
純資産の部	113,347	112,082

(単位：億円)

連結自己資本比率の状況(第一基準)	平成23年9月末	平成23年12月末
自己資本比率	15.42%	15.14%
Tier1 比率	13.04%	12.82%
自己資本	123,847	123,455
Tier1	104,710	104,546
リスク・アセット	802,769	815,037

クローズアップMUFUG

MUFUGグループでは、リテール、法人、国際、受託財産の顧客部門がお客さまのニーズにスピーディーかつきめ細かくお応えしています。このコーナーでは、これらの部門を4回に分けてご紹介しています。第4回は企業および個人のお客さまに資産運用・管理サービスを提供している受託財産部門です。

受託財産部門

企業年金や投資信託などお客さまの大切な資産をお預かりし、その運用・管理を行っている受託財産部門。MUFUG受託財産連結事業本部長の和地薫常務執行役員に聞きました。

受託財産連結事業
本部長
和地 薫



Q. 受託財産部門における、MUFUGならではの強みは？

A. MUFUGグループでは、企業年金や投資信託の運用・管理業務で長年の経験と知識を兼ね備えたスタッフを有する信託銀行、投信・投資顧問会社、国内外の資産管理銀行などのグループ会社が、お客さまの幅広いニーズに一体となってお応えできることが大きな強みです。

企業年金の分野では、高齢化社会の到来や年金制度を取り巻く環境変化に伴い、お客さまのニーズはますます複雑化・多様化しています。こうしたニーズにお応えするため、確定給付年金では、三菱UFJ信託銀行が企業年金制度創設時より培ってきたノウハウをもとに、お客さまの企業年金制度の設計から資産運用・管理に至るまでの総合的なサービスをMUFUGグループのネットワークを通じて提供しています。また、確定拠出年金においても、グループ総合力を発揮し、運営管理業務も含めた幅広いサービスを提供しています。

また、投資信託の分野では、三菱UFJ投信と国際投信投資顧問が、豊富な商品ラインアップとMUFUGグループ各社をはじめとした販売網を通じて、お客さまの資産運用ニーズに幅広くお応えしています。例えば、三菱UFJ投信ではネット投資家向けファンドの拡充や収益の一部を東日本大震災復興へ寄付するファンドの設定、国際投信投資顧問ではアジア関連ファンドの拡充や国内初のVIX先物指数*1への連動をめざすETF*2の設定など、お客さまのニーズや社会の動向を迅速に捉えた商品の開発に取り組んでいます。

*1 VIXとは、Volatility Index の略称で、株式相場の先行きに対する投資家の心理を示す指標です。

*2 ETFとは、Exchange Traded Fund の略称で、株式同様、証券取引所で売買することができる上場投資信託のことです。

Q. 今後の成長戦略について聞かせてください。

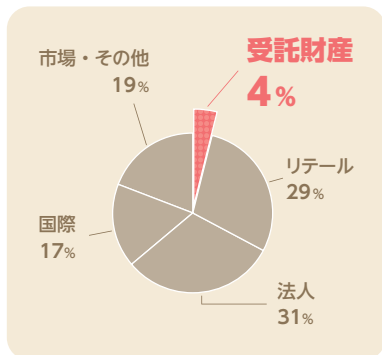
A. MUFGグループ内の連携を一層強化し、お客さまのニーズを的確に捉えた商品開発にさらに力を入れていきます。

新興国経済の発展や運用リスク分散ニーズを背景に、お客さまの海外運用へのニーズは年々高まっています。出資提携先や海外拠点を最大限に活用し、お客さまに安心して運用いただける商品の開発・提供を行っていきます。また、これに伴う海外資産管理へのニーズの高まりに対しても、国内外拠点一体となって付加価値のあるサービスを提供できるよう努めてまいります。

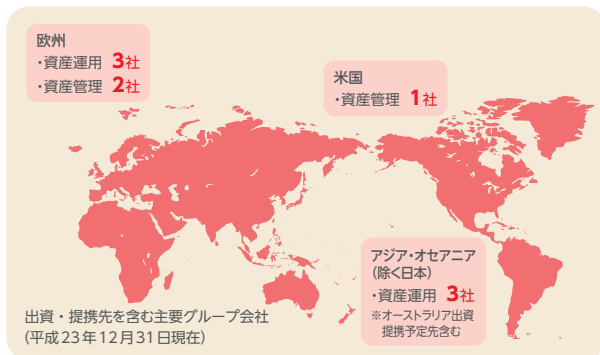
さらに、今後は、海外のお客さまに対しても、日本株を中心とした運用商品の提供を進めていきます。加えて、成長性の高いアジアや欧米を中心に、出資・提携戦略も含めた現地市場への参入も積極的に行っていきます。すでに、英国や中国の資産運用会社に対して出資を行っておりますが、近々、豪州の資産運用会社への出資・提携を行い、同社の運用ノウハウを活用した商品を共同開発し、それをMUFGのネットワークを通じて国内のお客さまに提供する予定です。

こうした取り組みを通じ、グローバルな資産運用・管理機関としての存在感を高めていきます。

■ 部門別営業純益 (平成22年度)



■ 海外ネットワーク (出資・提携先を含む)



■ 主なグループ会社 (受託財産部門)

信託銀行	三菱UFJ信託銀行 日本スタートラスト信託銀行	海外資産管理	米国三菱UFJ信託銀行 三菱UFJグローバルカストディ 三菱UFJトラストインターナショナル
銀行	三菱東京UFJ銀行		
資産運用	三菱UFJ投信、国際投信投資顧問、 MU投資顧問	確定拠出年金 運営管理機関	日本確定拠出年金コンサルティング

■ 主な出資・提携先 (受託財産部門)

アバディーン (英国)、バイリー・ギフォード (英国)、申万菱信管理有限公司 (中国)

1 店頭でのお手続きがさらに便利に

三菱東京UFJ銀行では、店頭カウンターにタッチパネル式のモニターを設置し、定期預金のご入金・お支払いなどのお手続きを対話形式で行う新たな受付方法を導入します。

この受付方法では、金利や期間の選択をタッチパネル式モニターで行うほか、行員がお取引内容をお伺いしてシステムに入力することにより申込書を自動作成します。お客さまは、申込書の記載内容をご確認のうえ、署名・押印いただくだけで簡単・スピーディーにお手続きを行うことができます。この受付方法は平成24年2月にまず数カ店に導入し、5月には全店に拡大する予定です。また、対象取引も順次拡大していきます。

三菱東京UFJ銀行では、お客さまのご記入負担の軽減などサービスのさらなる改善を進めていきます。

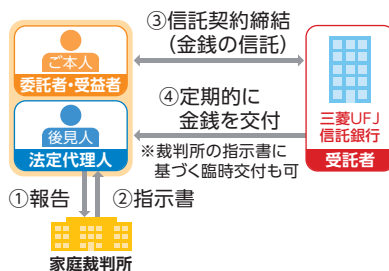


2 「後見制度支援信託」、三菱UFJ信託銀行で取り扱い開始

平成24年2月、三菱UFJ信託銀行は、後見制度による支援を受けているお客さまを財産管理面で支援する「後見制度支援信託」の取り扱いを開始しました。背景には、後見制度において、財産の管理・保護が適切になされていない事例や、日々の口座管理を負担に感じる後見人が散見されることなどがあります。

「後見制度支援信託」は、家庭裁判所の発行する指示書に基づいて、お客さまの財産（金銭）を管理しながら、定期的に一定額を後見人が管理する預貯金口座にお支払いし、生活費などの日常の支出にご利用いただく商品です。お客さまの財産を安全確実に保護するとともに、後見人の方のご負担も軽減することができます。

三菱UFJ信託銀行では、信託銀行ならではのノウハウを結集し、今後も社会のニーズにお応えできる商品を提供していきます。



3 メキシコ三菱東京UFJ銀行が2億米ドル増資

平成23年12月、メキシコ三菱東京UFJ銀行は、さらなる業務拡大のために2億米ドル(約155億円)の増資を行いました。

メキシコ三菱東京UFJ銀行は、日本の銀行としては唯一の現地法人として、企業のお客さまに決済、為替、預金、貸出、投資銀行サービスを提供しています。メキシコには、石油・銀などの豊富な天然資源があり、また、最近では特に南北アメリカへ容易にアクセス可能な立地の良さや豊富な労働力を背景に、北米・南米向けの自動車などの生産・輸出基地としても注目されています。さらに40カ国を超える国々と自由貿易協定を締結していることもあり、日本企業をはじめ多くの企業が進出しています。

メキシコ三菱東京UFJ銀行では、今回の増資によりお客さまの当地での業務展開をさらに力強くサポートするとともに、収益力を一層高めていきます。



4 「第9回 Business Link 商賣繁盛at NAGOYA DOME」の開催

平成24年1月、MUFGは「第9回 Business Link 商賣繁盛at NAGOYA DOME」を開催しました。これは、お客さまの事業展開・販路拡大をサポートするために、お客さま同士をお引き合わせする商談会で、今回は『世界へ繋げる日本の底力～復興からの躍進～』をコンセプトに、「震災復興」「グローバル」「次世代産業」という3つのテーマを取り上げました。当日は、約2,000社の企業のお客さまにご参加いただき、約4,300件の商談が行われました。「震災復興」では被災地のお客さまによる物産展や、東北3県(岩手・宮城・福島)、3地銀(岩手銀行・七十七銀行・東邦銀行)のアピールブースの設置、「グローバル」ではアセアン諸国の最新事情に関する講演、「次世代産業」では新分野進出事例や官民連携のご紹介なども行いました。

今後もMUFGグループの国内外のネットワークを活かし、お客さまの事業展開・販路拡大を積極的にお手伝いしていきます。



社会とともに

東日本大震災から約1年が経ちましたが、MUFGグループでは、被災地の復興に向けて金融グループならではの支援を継続的に行っています。その一部をご紹介します。

■ 三菱東京UFJ銀行

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟と共同で「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」を立ち上げ、奨学金給付を中心に、小学校の花壇再生やボランティア活動などを行っています。

■ 三菱UFJ信託銀行

上場企業のお客さまに対して「選択式優待サービス」をご用意しました。これは、お客さまの実施する株主優待制度において、株主が優待品の代わりに東日本大震災の被災地への義援金として日本赤十字社への寄付を選べるというサービスです。

■ 三菱UFJモルガン・スタンレー証券

震災直後より、支援物資を被災地に届けるとともに、今までに累計で約100名の社員が被災地を訪れ、ボランティア活動を行ってきました。

■ 三菱UFJニコス

ホームページ上に復興支援サイトを開設して東北4県ごとのページを設け、観光地・旅行プランの紹介や加盟店の特産品等の販売促進というかたちで支援をしています。また、新たにボランティア休暇制度を導入し、社員によるボランティア活動を継続的に行っています。

■ 三菱UFJリース

被災地の子どもたちに用意されたキャンプや体験学習といった教育プログラムを支援するためにカメラを寄贈するなど、さまざまな活動を行っています。

■ 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

宮城県気仙沼市が震災復興の計画を策定するにあたり、復興会議・市民委員会などの会議運営や計画案作成を無償でお手伝いしました。今後も、同市をはじめ各自治体の復興に向けた取り組みのお手伝いをしていきます。

岩手県の奨学生を対象にした応援交流会を開催

平成23年11月に、「MUFG・ユネスコ協会 東日本大震災復興育英基金」の奨学生を対象とした応援交流会を開催しました。当日は、岩手県在住の奨学生およびその保護者24名とMUFGグループ社員と一緒に小岩井農場まきば園でバター作り体験などを行いました。



アジアの研修生との交流会を開催

MUFGグループは公益財団法人オイスカ*とともに、アジアの途上国の若者たちに、組織運営や環境保全型有機農業を学んでもらい、各国の将来を担う世代の育成支援に取り組んでいます。これまでに29名の方が研修を受け、帰国後、有機農業の分野や社会的リーダーとして活躍しています。平成23年12月には、MUFGグループの社員・家族が第4期の研修生11名と一緒に野菜の収穫などを行い、交流を深めました。

*昭和44年設立の国際NGO(非営利組織)。主にアジア・太平洋地域で農村開発や環境保全活動を展開。



貨幣資料館開館50周年

三菱東京UFJ銀行貨幣資料館(名古屋市東区)は、開館50周年を迎えました。旧東海銀行の創立20周年を記念して設立された同資料館には、希少価値の高い国内外の貨幣約1万点が所蔵されています。入館は無料となっており、地域の小学生の社会科見学の場としても活用されています。

開館時間 9:00 ~ 16:00(入館は15:30まで)

入館料 無料

休館日 月曜日、祝日、年末年始

所在地 名古屋市東区赤塚町25番地

TEL (052)933-5151



グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1

電話03(3240)8111(代表)

URL:<http://www.mufg.jp/>

株式に関するお手続きについてご不明な点などがございましたら、
以下の株主名簿管理人の連絡先にお問い合わせください。
三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部テレホンセンター
電話:0120-232-711(通話料無料)
(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)